



7月11日はUDF（ユニバーサルデザインフード）の日

「介護にまつわる意識調査」結果報告

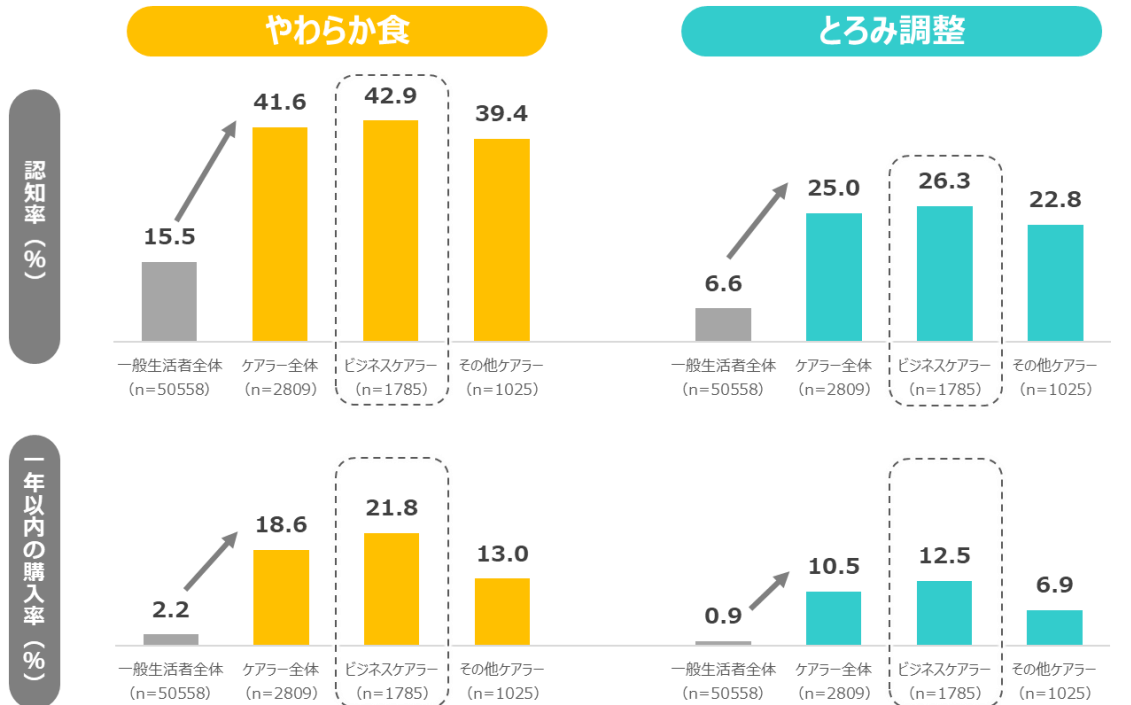
増えるビジネスケアラーにおけるUDF認知率、購入率を調査

キューピー株式会社

キューピー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員：高宮満、以下キューピー）は、7月11日「UDF（ユニバーサルデザインフード）※¹の日※²」に向けて「介護にまつわる意識調査」の結果を報告します。本調査は、在宅における介護の実態を調査・分析し、介護の不安解消や課題解決に向けた提案につなげることを目的に2017年にスタートし、今回で9回目となります。

キューピーは、1998年に日本で初めて市販用介護食を発売しました。1999年に「やさしい献立」にシリーズを刷新し、今年で25周年を迎えました。この25年間で高齢化がさらに進行した日本では、介護への関わり方も多様化し、仕事をしながら家族の介護を行うビジネスケアラーの数が増加傾向にあります※³。そこで今回は、ビジネスケアラーの介護を社会課題と捉え、その視点から介護における食や市販用介護食の認知率・購入率について報告します。

ビジネスケアラーのUDF認知率、購入率はいずれも一般生活者に比較して高い



(認知率・一年以内の購入率：呈示商品いずれかを選択した人の割合)

介護が必要な身内のために、何かしらの食事ケア※⁴をしている人（ケアラー）のうちビジネスケアラーは、UDFについて「認知（知っている）」「一年以内に購入」のいずれの項目においてもその他のケアラーに比較し、高い結果となりました。しかし、認知はしていても一年以内にUDFを購入した人は、ビジネスケアラーでもやわらか食が21.8%、とろみ調整が12.5%と、介護と仕事の両立で忙しい日々UDFを取り入れている事例は少ないことが分かります。一方で、一般生活

者の UDF 認知率はやわらか食が 15.5%、とろみ調整が 6.6%でした。もし介護を含め UDF を必要とする場面が訪れたとしても UDF を知らない、すぐには活用に至らず、全て手作りすることになります。

本調査の結果から、ビジネスケアラーの UDF の認知率、購入率はいずれも高いことが確認できました。しかし、認知はしていても実際に一年以内に購入した人は、ビジネスケアラーでも半数以下で、忙しい毎日に市販介護食を活用しているとは言い難い状況でした。介護離職などによる経済損失を抑えるためにも、ビジネスケアラーの負担軽減が必要と言えます。

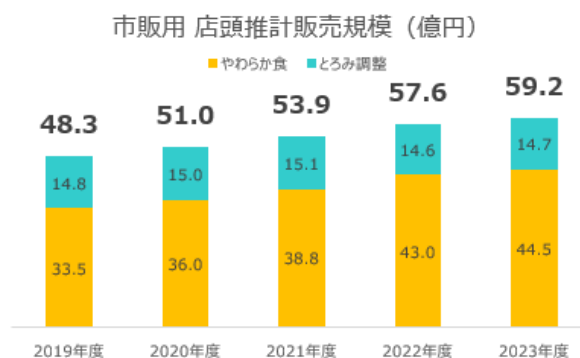
調査手法 : アンケート調査 (WEB 回答)

調査期間 : 2024 年 3 月 22 日 (金) ~ 2024 年 4 月 4 日 (木)

調査対象 : 20~70 代の一般男女計 50,558 名

(参考) 年々伸びる UDF 市場、2023 年度の市販用販売規模は 59 億円

UDF 市場は年々伸長し、2023 年度の販売規模は 59 億円 (やわらか食: 44.5 億円、とろみ調整 14.7 億円) で前年比 103%、2019 年比では 122% となりました。日本介護食品協会が定めた自主規格の 4 区分ととろみ調整では、「かまなくてよい」が 21 億円と最も大きい市場になっています (インテージ SRI+ より)。



キューピーは、「やさしい献立」シリーズ発売 25 周年を機に、ビジネスケアラーの負担軽減につながる提案を進め、介護の現場においても「食の大切さ、楽しさ」を伝えていきます。

【キューピー やさしい献立シリーズについて (ラインアップ計 54 品)】

「やさしい献立」は、UDF の規格に準拠した市販介護食です。2023 年に「SDGs・災害食大賞®2023」の「ローリングストック部門」で、最高位の最優秀賞を受賞^{※5}した備蓄にもおすすめのシリーズです。さらに 2024 年には第 9 回介護食品・スマイルケア食コンクール「噛むことに問題がある人 (咀嚼困難者) 向けの食品部門」 「やさしい献立 やわらかごはん」が金賞を受賞^{※6}しました。

- ・ 容易にかめる : おかず 6 品
- ・ 歯ぐきでつぶせる : 主食 5 品、おかず 5 品
- ・ 舌でつぶせる : 主食 12 品、おかず 9 品
- ・ かまなくてよい : 主食 1 品、おかず 11 品、デザート 2 品
- ・ とろみ調整 : 3 品



- ※1 UDF(ユニバーサルデザインフード) :日常の食事から介護食まで幅広く使える、食べやすさに配慮した食品のこと。かむ力や飲み込む力に応じた「やわらか食」(容易にかめる・歯ぐきでつぶせる・舌でつぶせる・かまなくてよいの4区分)と、「とろみ調整」で構成(日本介護食品協議会が定めた自主規格)。
- ※2 UDFの日:2003年7月11日に「UDF(ユニバーサルデザインフード)」の名称と「UDFロゴマーク」が商標登録を受けたことにちなんで、7月11日を「UDFの日」に制定。
- ※3 経済産業省公式サイト内 https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/healthcare/kaigo/kaigo.html
- ※4 通常の固さや大きさの食べ物を嚙んだり飲み込むことが難しい人、消化機能障害がある人、自力で食事をするのが難しい人などに対して、食べやすい食事を用意したり、食べさせてあげたりすることを指す
- ※5 [キューピーアヲハタニュース 2023年 No.37](#) 参照
- ※6 [キューピーアヲハタニュース 2024年 No.33](#) 参照